

「無国籍」の現状と課題

——家族、アイデンティティを中心に

講師／陳天璽氏

(国立民族学博物館准教授)

2008年11月11日(火)

14:40～17:00

会場／奈良女子大学 F棟5階会議室
(近鉄奈良駅下車 北へ徒歩5分)

——国籍があって当然だと思いませんか？

——国籍のない人がいることを知っていますか？

——国籍のない人の日常を知っていますか？

私たちは、国籍があることを当然だと思っていないでしょうか。世界はもちろん、この日本にも国籍を持たない人々がいるのを知っているでしょうか。人々がどのようにして国籍のない状態になったのか知っているでしょうか。このセミナーでは、ご自身が「無国籍」だったご経験をもち、日本や世界で国籍のない状態にある人々について数多く研究されてきた、陳天璽氏をお迎えして、「無国籍」の人々の置かれた現状と課題について「家族」「アイデンティティ」というキーワードでお話いただきます。また、「無国籍」についてだけではなく、当事者が研究者として自分と同じ状況にある人々を研究対象とすることの良さや難しさについても、学ぶことができるかと思えます。みなさまお誘い合わせの上、是非ご参加ください。



陳天璽 (チン・テンジ)

国立民族学博物館准教授。2000年、筑波大学大学院国際政治経済学研究科修了。香港中文大学への留学、ハーバード大学フェアバンクセンター東アジア研究所・同大学法学部東アジア法律研究所客員研究員、日本学術振興会特別研究員(東京大学総合文化研究科)などを経て現職。華僑・華人問題をはじめ、移民・マイノリティー問題、国境・国籍問題に取り組む。

- ◆参加無料、申し込み不要。
- ◆資料準備の都合上、事前に参加の連絡をいただけると助かります。
- ◆セミナーに関する問い合わせ:nara.wu.pj@gmail.com

企画:奈良女子大学大学院人間文化研究科社会生活環境学専攻「研究プロジェクト演習」受講生

